アカデミーかわら版

歌川国芳「其のまま地口 猫飼好五十三疋」より構成

かわら版６月号は記念すべき100号！

ねこたちも祝っています。わかりますか？

太田 猛彦 理事長 第34回「みどりの文化賞」を受賞

「みどりの文化賞」は、緑や森林に関して顕著な功績のあった個人または団体を顕彰するものです。太田理事長の受賞は、治山・砂防学や森林水文学の専門家として、海岸防災林の再生や気候危機に対応する土砂災害対策の方向性を示したほか、森林・林業の問題を広い視野で捉え、未来のあり方を探究し続けていること、持続可能な低炭素・自然共生社会の構築に向けた提言や普及活動は学界や経済界にとどまらないこと、かわさき市民アカデミーの理事長として講師として一般市民・消費者と積極的に交流し、最新の知見をわかりやすく伝えていること等が評価されたものです。

第34回みどりの文化賞
～森林・林業のあるべき姿を市民目線で伝え続ける～
（受賞者）
おおた　たけひこ
太田 猛彦（83歳）
（東京大学名誉教授）
（公社）国土緑化推進機構による発表(令和7/4/10)より

「みどりの感謝祭」で佳子内親王と挨拶される太田猛彦理事長

（令和７年５月10日）
代表撮影/毎日新聞より

2025年度 後期 受講生募集 のお知らせ

7/3(木)より「**2025年度後期受講生募集案内**」が**配布**(とともに**申込み受付開始**)される予定です。
ホームページからのお申込みは**7/8(火)午後１時**より。
締切りは**8/21(木)必着**です。

説明会も開催します。
詳細は受講生募集案内をご覧ください。

新規受講生紹介キャンペーンのちらし　HPにあります↑

7月28日	(月)	高津市民館第5会議室
7月29日	(火)	麻生市民館第1会議室
7月31日	(木)	川崎市生涯学習プラザ201会議室
		●7/31はオンラインでも参加できます

受講料等のお支払いは口座振替で！！

2025年度前期分から口座振替制度を導入しました。口座振替手続きをしていただいた受講生の受講料等は、これまでのゆうちょ銀行への個別振込みと異なりアカデミーに一括入金され、入金消込がシステムで一括処理することができました。口座振替手続きいただいた受講生におかれましては、改めてご理解とご協力に感謝申し上げる次第です。

つきましては、新規受講生など口座振替手続きをされていない方におかれましては、是非、口座振替制度をご利用ください。「預金口座振替依頼書」は、アカデミー事務局にありますのでご連絡ください。

2025 年度「通常総会」のご報告

2025 年度の通常総会が 5 月 27 日（火）に開催されました。出席、書面又は委任状により総会の定足数を満たす 131 名の参加がありました。議長に太田理事長を選出し、2024 年度事業報告及び 2025 年度事業計画（案）など 7 議案が提案され、質疑応答の後、各議案はいずれも賛成多数で可決承認されました。

2024 年度　活動報告(概要)

2024 年度は、受講生数（地域協働講座を除く）は、前期 2,718 人、後期 2,466 人、年度合計 5,184 人と前年度の 5,398 人から 214 人下回りました。後期が前期を大きく下回りました。

今後とも受講生数の回復があまり期待できない状況であることを前提に、中期経営計画で挙げた諸項目「魅力ある講座の実現、制度の改善、広報力の強化、財政健全化・効率向上」に加え、事業構造の見直しにも着手し、講座数は 91 講座・ＷＳ（地域協働講座を除く）で開講、前年度の 98 講座・ＷＳより 7 講座縮小しました。

2025 年度　活動方針(概要)

2025 年度は、受講生数が 2024 年度よりも減少する可能性も織り込んだ上で、支出削減策と労務費のアップを織り込み、なんとか黒字の予算を組むことができました。この予算を達成し、正味財産を少しでも積み増すように全力を尽くします。

中期経営計画で挙げた諸項目の実施に加え、事業構造の見直しも検討を続け、実施可能な案件から順次実施していきます。

限られた財政的資源・人的資源の中ではありますが、アカデミーの特徴である「質の高い多様な講座」をベースに、賑わいのある講座になるよう、受講生の皆様の協力によるアカデミー運営の充実を目指していきます。

2025 年度　NPO 役員の紹介

理事長	太田　猛彦	（6 月 1 日理事会で選出）	
副理事長	重藤　和義	（6 月 1 日理事会で選出）	
	清水　正美	（6 月 1 日理事会で選出）	
	中澤　晶人	（6 月 1 日理事会で選出）	
理　事	石塚　初子	金子　勉	木村　ますみ
	島田　久弥	守田　啓子	吉田　泰麿
監　事	平井　茂雄		（五十音順）

名誉理事長　藤嶋　昭

新任役員からひと言

新理事　島田久弥さん

アカデミーとは、退職後に通った大学院で高齢者の生涯学習の研究に取り組んだ際に、取材先としてお邪魔してからのお付き合いです。生まれ育った川崎の貴重なアセットであるアカデミーの更なる発展に、微力ながら寄与できれば幸いです。何卒宜しくお願いします。

2024 年度　会計報告（概要）

2024 年度は、当期から改定した入会金・受講料の値上げに伴う収益増と事務局体制の変更、講座数削減等による費用減を見込んだ正味財産増減額＋4,043 千円の予算でスタートしましたが、決算では予算とほぼ同額の＋4,103 千円となりました。収益は、会員・聴講生の受講料が、後期受講生数が減少したことにより対予算△2,219 千円となった一方で、特別・単回講座が＋1,784 千円とこれをカバーする収益増がありました。費用は、人件費が対予算＋1,134 千円となりましたが、募集案内パンフレット作成の合理化等により印刷代が△419 千円となるなどの費用削減により対予算△995 千円とすることができました。

2025 年度　活動予算案（概

2025 年度予算は、前期受講生数のうち 1 年会員が増加した一方で聴講生、WS、短期集中の受講生が減少したことに伴い、受講料は 24 年度決算より△1,501 千円となり、経常収益は対前年決算△1,938 千円を計上しました。一方、費用は、講座の一部統廃合や開催回数減少等により講師謝金は△792 千円を見込みましたが、24 年度からの受講料改定に伴う支払消費税を＋1,733 千円で見込んだことなどに伴い、経常費用は対前年決算＋1,005 千円となり、当期正味財産増減額は＋1,160 千円を予算計上しました。

かわら版 100 号！
これからもアカデミーを伝えていきます‼
歴代のかわら版編集委員長からのメッセージ

初代（2007/4 月～2014/5 月））折居晃一

2007 年からアカデミーの運営を NPO が担うことになりました。これに際して NPO とは何か、どんな運営を行うのかを受講生の皆様に知っていただく必要を感じて、始めたのが NPO 通信でした。随分武骨な名前で内容もこなれていませんでした。

今から思うと背筋にヒヤ汗の感もありますが、アカデミー・受講生・NPO を繋ぐ手段として、手探りしながらの試みでした。かわら版の充実に対比して今昔の想いがあります。

2 代（2014/ 5 月～2016/5 月）石塚初子

「NPO 通信」の頃からお手伝いして、その後折居さんから引き継ぎ 40 号から 55 号まで編集を担当しました。その頃から講座の世話人不足問題があり、NPO への関心、参加意識を高めていただくことを主眼に名称を「NPO 通信」から「アカデミーかわら版」に変え、カラー印刷にし内容をより親しみやすいものにと変えていきました。

55 号の時には「よく続いたものだ」を感慨深く思いましたが、100 号を迎え感無量です。

3 代（2016/ 5 月～2018/5 月）岡毅一郎

かわら版 100 号達成おめでとうございます。

編集者として受講生の皆さんに、かわさき市民アカデミーの歴史やその良さを知っていただきたく、「特集コーナー」を設けるなど工夫した思い出がよみがえります。

日本一の生涯学習の場であるアカデミーはこれから先も市民から、「知識を得た」「友も得た」「学んでよかった」と愛される市民大学であって欲しいと願っています。

4 代（2018/5 月～2022/8 月）中澤晶人

2017 年に理事就任と同時にかわら版編集委員となり、2023 年 5 月まで務めてきました。思い出深いのは新企画として 2020 年 1 月に特別号「キラリとひかる講座紹介」号の発行を提案しました。コロナ禍を乗り越え、今も続いています。アカデミーの楽しさを伝えようと、様々な受講生や講師のみなさんのトピックスを記事にするため編集委員の皆さんと話し合ったのが楽しい思い出です。100 号に止まらず、150 号を目指してください！

5 代（2022/8 月～）飯田信康

委員長になって最初のかわら版は 22 年 10 月号。皆さんに何をどう伝えるのか。メンバーほかの協力を得て、3 年振りのフェスタ開催などを案内して無事に発行。安堵しました。11/5 のフェスタでは「アカデミーかわら版」タイトルバックの歴史「浮世絵ブラ旅！」の展示。そして今回 6 月号は記念すべき 100 号！忙しいものの意外に楽しいかわら版の編集。皆さん、参加しませんか。

100 号記念 謎かけ講座

答は 1~4 面のどこかに

★ NPO にとって 1 年で大切な会 とかけまして、
真夏に歩きまわったあとの生ビール ととく。　そのこころは
どちらも「・・・」でしょう。

★ 大谷翔平ならこのくらいホームラン打つでしょう　とかけまして、
今後のかわさき市民アカデミーに期待されるもの　ととく。　そのこころは
どちらも「・・・」でしょう。

世話人グループ紹介ー映像・メディア

映像・メディア講座は、テレビ、映画等、映像メディアのプロデューサー、ディレクター、映像監督、アナウンサー等。新聞、本、雑誌等、活字メディアの新聞記者、ジャーナリスト、編集者等々をお招きして、その時々のテーマに沿ったお話をして頂いている、長く続いている講座です。

世話人は、現在男性３名、女性３名で講座の準備、受付、司会進行、後片付け等、事務局職員さんのお手伝いをしています。

世話人の皆さんは、それぞれの社会生活を過ごされてきた方々であり、講座終了後は、反省会と称して飲み会を開くことも多く、講座運営についての話し合いはもちろん、各自の近況等についても話す場となっています。

担当理事　守田啓子

最近は、コーディネーターの先生と当日登壇された先生もご一緒することも多くなり、講座では聞けなかったお話を聞ける機会が増えました。

以上のように、世話人同士仲良くしています。ご興味のある方は、歓迎致しますので、是非世話人になって下さい。

（代表世話人　石原雅史）

予告　日本史特別講座　『歴史を旅する～吉野･高野･熊野～』

今回は大和国の吉野から紀伊国の高野山
さらに熊野の修験道で知られた世界を切り取り、眺めます

●日程･内容･講師（敬称略）

第1 回 2025 年8 月20 日（水）関 幸彦 元日本大学教授
『「吉野」を呼び出せ！南朝の記憶が息づく吉野の中世を掘り下げます』

第2 回 2025 年8 月27 日（水）角田 朋彦 京都芸術大学講師
『「高野」真言密教の故郷を弘法大師の世界とともに考えながら西行以下、熊谷直実なども射程に据え語ります』

第3 回 2025 年9 月 3 日（水）関 幸彦 元日本大学教授
『「蟻の熊野詣」が象徴する都たちの宗教スポット。白河院以下、多くの上皇の尊崇した熊野の来歴を考えます』

●時間　午前10時00 分～11時30 分

●会場　第１回、第２回会場　川崎市総合自治会館　コスギサードアヴェニュー4 階
第３回　川崎市生涯学習プラザ４階401会議室（定員140 名、会場受講のみの募集）

●受講料　各回2,000 円　（申込み方法など、詳細は募集チラシ等をご参照ください）

編集後記

アカデミー･コミュニティが元気になる役割を担っていると自負する“かわら版”は、100 号になりました。タイトルバックの浮世絵シリーズは、受講生の畑英子さんの構成によるもの。６月号は、無類の猫好きだった国芳の「其のまま地口猫飼好五十三疋」です。地口（じぐち）とは、諺、成句と似た発音の文句を作る洒落のこと。猫飼好五十三疋（みょうかいこうごじゅうさんびき）≒東海道五十三次

かわら版では国芳にも負けない言葉遊びの達人が謎かけシリーズに意欲を燃やしています。これからもお楽しみに。　kei

認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー
発行人　広報・地域連携部会
編集人　かわら版編集委員会
川崎市中原区今井南町 28－41
川崎市生涯学習プラザ 3F

電話 044-733-5590　FAX 044-722-5761
問合せメールアドレス　　HP はこちら↘
info@kawasaki-c-academy.jp
https://kawasaki-c-academy.jp/